

網張ビジターセンター ニュースレター



Vol.70
2017.1



森のハンター登場！

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori * 網張の森の生き物たち * amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

ウサギとニアミス？の“ホンドキツネ”

寒波到来との報道が日本中を駆け巡った1月のある日、センサーカメラにホンドキツネが写っていました。幸か不幸かごちそうになるはずのウサギの姿は見あたりませんでした。足跡の匂いを嗅いでいるような仕草は、ウサギがいくら離れていたとしても思わずゾツとしてしまうことなのでしょう。昨シーズンはウサギの姿や雪面での足跡があまり見られませんでした。その代わりにキツネの姿を数多く確認できました。今シーズンもキツネの足跡を頻繁に目にしていますので、依然数多く棲息していると思われませんが、ライバルが多い分工サの確保が難しくなり、やがて自然と数が減ってゆく…。

センサーカメラを設置し始めて5年目。両者がお互いの生存に深く関わっているのかも…ということが本などからではなく、肌で感じる取ることができた記録となりました。

What is “Hondokitsune”?

「本州に棲むキツネ」

イヌ科

頭胴長：50～75cm 前後

分布：本州～九州

ホンドキツネの他に北海道に分布するキタキツネが知られる。ホンドキツネの方が若干小さめ。「狐につままれる」と人を化かすなどの俗信が多いが、かつては稲の神とキツネを祀る稲荷神との混同で田の神として信仰の対象となっていたことも。

(参考図書:「岩手の動物たち」)

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori



小松倉山の山頂付近、雪庇が育ってきている

網張から見える 山ノート

4ページ目 小松倉山

小松倉山

標高：1241m

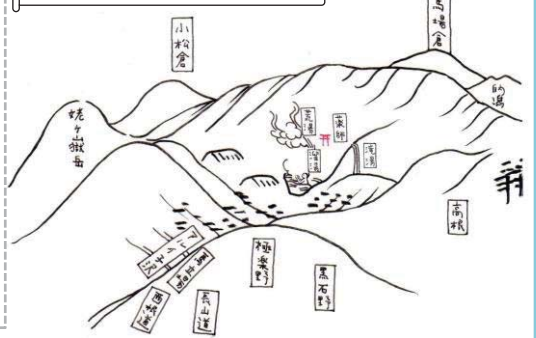
位置（網張VCから）：西北

登山適期：積雪期（登山道はなし）

特色：このエリアは網長火山列と呼ばれ、岩手山よりも古い時代に形成された。小松倉山の北西には火口が広がり、大松倉山と共に火口の外縁部に位置する。

「小松倉山」そのものはひっそりとした地味な存在かもしれませんが、網張VCの住所の字は「小松倉」で、文字上においては日常的に人目に触れ続けています。県立図書館で江戸時代後期の雫石に関する和綴じ本を閲覧したところ、「小松倉」の表記はすでにみられましたが、その周辺の山として記されていた「姥ヶ嶽岳」や「馬場倉」は、今は使われていない山名で、結局どの山を指すのか不明でした。「岩手山」も過去には「岩鷲山」と呼ばれていましたが、「小松倉山」はふれずに呼称され続けているのは大したもの。「三ッ石山」に奥産道経由で向かう際は、傍らで「小松倉山」は静かに登山者を見守っています。

雫石通細見路方記・網張温泉略図 写一筆者



スキー場グレンデから見た小松倉山



☞小松倉山方面に向かうには、スキー場の双子林間コースを経由するのが最短。コースにはオオシラビソやダケカンバの樹林帯が続き番号標識も設置されているが、一部経年劣化が進んでおり注意が必要。



☞夏に犬倉山から見た眺望。「烏帽子岳（乳頭山）の直線上に視線を落とすと、小松倉山を確認できる。」と、VCリピーターの「牧野林さん」が耳よりの情報を寄せてくださった。

amihari birds

アミハリ・バーズ Vol. 1 3

アカゲラ

科名:キツツキ科
全長:約23.5cm
生態:留鳥
分布:北海道・本州

キツツキというと、多くの方がこのアカゲラを思い浮かべるのではないのでしょうか。赤・黒と白のコントラストが美しい鳥で、色彩の抑えられた冬の森ではひときわ目をひきます。先日見かけたアカゲラは胸からお腹にかけて、意外とベージュ色だったのが印象に残りました。

枯れてしまった立木には、高確率でキツツキの仲間がついた穴が残されています。彼らは木が徐々に分解されていく過程においても、貢献力は小さくない存在といえそうです。



“国立公園当確”という前評判から逆転、国定公園へ



審議会での結果を一面トップで伝える
8月24日の「岩手日報」紙

(岩手県立図書館提供)

同じ紙面には「まさか夢のよう」と喜びに湧く三陸沿岸の地元民と、「全く意外」と失望の色を隠せない岩手県関係者の声の両方がのせられている。

以前、ニュースレター68号で触れた「バカヤロー事件」の翌年、国立公園審議会委員で高山植物の権威、武田久吉博士と著名な女流登山家の村井米子さんが網張から八幡平の調査に入り犬倉山頂から目の前に広がる原始的景観を大絶賛します。昭和26年には、八幡平が全国19ヶ所に絞られた自然公園候補地の一つに選ばれました。

昭和27年に入ると、国立公園審議会の下村会長を団長とした最終調査が行われ、厚生省職員から八幡平は大丈夫と言う声も出て地元関係者は国立公園指定近しとの感を深くします。この時の調査団をめぐっては、秋田県の湯瀬温泉で張り切り過ぎた歓迎側と一悶着起こす興味深い後日談があるのですが、ここでは省略します。

昭和29年8月24日、国立公園審議会総会が新宿御苑で開かれ、その結論は「西海」、「屋久島」、「陸中海岸」が新たな国立公園、「伊豆」が富士箱根国立公園に編入、「八幡平」はランク下の国定公園ということでした。それまで国立公園指定を目指して奔走してきた岩手、秋田両県の関係者はひどく落胆しました。これについて厚生省国立公園部は選定の経緯の中で「国立公園の選定にあたっては、厳選主義を貫き乱立を防止すること」が重要で八幡平は優れた景観だが、風景形式として日本を代表するものでは無かったと説明しています。

PR



寒い日は温泉に入った後、ビジターセンターでゆったりとくつろぐ・・・スタッフに山と自然の話でもしてやろうか・・・

のりえ こうえんかけあるき

環境省盛岡自然保護官事務所 アクティブレンジャー紀恵の公園駆け歩記

吾輩は猫である。名前は助六。名前の由来は歌舞伎十八番の超人気演目、「助六由縁江戸桜」の主人公、助六からである。顔の模様が見取りに見えたことから付けられたらしい。主が留守の間、自宅を守るのが吾輩のお役目。仕事の合間に窓から見える鳥にケンカを売ったり、あちこちでうたた寝をしているのを主はきっと知らないことだろう。

盛岡自然保護官事務所のアクティブレンジャーをしている工藤紀恵が吾輩の主。普段は紀ちゃんと呼んでやっている。寒さが苦手な主に代わり、今回の公園駆け歩記を担当することにした。揚巻の初音ならぬ助六の初音だ。



現在、主は吾輩を家に残しスキーの猛特訓中なのである。

紀ちゃんはアクティブレンジャーだ。アクティブというのは外来語で、活動的とか積極的とかいう意味らしいが、うちの紀ちゃんは家の中では決してアクティブではない。寝てばかりだ。猫というのは長い時間寝るので寝る子→「ねこ」と呼ばれるようになったとの説もあるが、寝る子も真っ青なほどよく寝ている。時折動いたかと思うと白くて大きな扉を開けてゴソゴソと餌を取り出し、口に放り込む。しかし山に行くとなると急に動き出す。前の日からせっせと大きな袋に色々詰め込みバタバタとしている。吾輩がかまって欲しくてウロチョロすると邪魔にされる。そんな時は紀ちゃんの後ろ足に噛みついて注意をひくと、まんざらでもなさそうに前足を器用に使って吾輩を撫でてくれるのだ。「忘れ物すんなよ」吾輩の願いが紀ちゃんに通じるといいのだが。

皆さんにお願いがある。家では怠惰な主でも外では頑張っているようなので、これからもよくかまってやって欲しいニャ。

環境省 東北地方環境事務所が十和田八幡平国立公園 岩手山地区で活動するパークボランティアを募集しています！

♥ パークボランティアって何ですか？

国立公園の保護管理や利用者に対する適切なアドバイスを行う活動に参加してもらう中で自然保護思想を普及する為に、環境省が一般から募集するボランティアです。岩手山地区では、現在24名が活動中。

♥ 具体的にどんな活動をするのですか？

網張ビジターセンターが実施する自然ふれあい行事のお手伝い、自然解説、美化清掃、公園施設の維持管理やパトロール、外来生物の駆除など様々な活動に参加します。

♥ 募集の要件について教えてください。

- ①自然保護への理解と公園利用者の模範としての自覚と活動への意志を有する。
- ②年間5日以上以上の活動に参加できる。③野外活動可能な体力を有し自己責任で健康管理可能。
- ④登録時年齢20歳以上。⑤「パークボランティア養成研修」受講（平成29年3月26日開催）。

♥ 募集期間 平成29年2月1日～3月13日 ♥ 募集人員 15名程度

♥ 応募方法 「パークボランティア募集申込書」（東北地方環境事務所のホームページ又は盛岡自然保護官事務所で入手）に必要事項記入の上、下記に郵送又はFAXで申し込んで下さい。

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸7-25 合同庁舎1F 盛岡自然保護官事務所 TEL 019-621-2501 FAX 019-621-2502



合同研修・交流会に集まった十和田八幡平国立公園のパークボランティアの皆さん（ミツ石山荘にて）

なんか変だぞ 今年の網張の冬は？

雪が少ない！

今年1月18日現在のビジターセンター前の積雪計は、僅か35cm。記録的に雪が少なかった昨年同時期の25cmよりは多いものの、一昨年の93cm、その前の102cmと比べると圧倒的に少ないのです。地球温暖化の所為なのか、たまたまの変動の幅なのか、わかりませんが、網張の森で暮らす生き物たちに何らかの影響が考えられます。



鎌倉森に続く森もチシマザサが立って登山者はヤブ漕ぎを強いられています。

これからの網張ビジターセンター活動プログラム

- 2月19日（日）相のiRP集合「巖麓の滝スノーハイク」9:30～
- 3月5日（日）VC集合「雪の鎌倉森をめざす」9:00～
- 3月18日（土）VC集合「残雪の奥産道を歩く」9:00～

◆現在開催中の網張ビジターセンター企画展◆1.5-2.28

- 十和田八幡平国立公園 荒川三郎写真展「山の彩り」 八幡平地域指定60周年記念 - ～国立公園八幡平地域の四季～

夏の八幡平・・・頂上駐車場展望台の上に輝くミツ石山



大松倉山中腹から赤く染まった山肌を眺める・・・ミツ石山



▲ 荒川 三郎 氏 ▲ プロフィール

盛岡市在住 1949年生まれ
盛岡工業高校在学中に山岳部に入り登山を始め現在も仕事の傍ら故郷の風景を撮り歩いている。今回は八幡平、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳など公園域内の山々を一堂に展示。

「これらの山や湿原は季節によりその姿を大きく変化させてくれる。この四季の彩りの変化をカメラで追いかけてきたので、ゆっくり鑑賞していただければ幸いです。」-出展者のことばより-

モモンガのつぶやき

ちょっとした事情があってビジターセンターの2階に泊まりました。ちょうど記録的な寒気が日本列島を覆った時で、夜半の外気温はかなり下がったと思いますが、頑丈な建物の中は快適で、安らかな眠りにつきました。突然、真っ暗闇の中でガタガタと地面が振動して目が覚め、寝ぼけ眼で外を見ると、除雪ローダーが広い駐車場の中を行ったり来たりしながら雪をかきだしています。いつもは、8時過ぎに出勤するのでわからなかったのですが、こんな暗いうちからの除雪作業でビジターセンターの冬期間開館が確保されていることに、あらためて気づきました。みなさん静かな冬の網張も魅力いっぱいですよ。（たくちゃん）



十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆11月 1,021人 ◆12月 726人
ビジターセンター朝9時平均気温 ◆11月 -2.3℃ ◆12月 -5.0℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉1-2（網張温泉）

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://amihari17.ec-net.jp>

E-mail amihari@vanilla.ocn.ne.jp

開館 冬期（11月から3月末まで）毎週火曜日休館
9時～17時